

第18回群馬県行政改革評価・推進委員会
次期行政改革大綱骨子検討案についての意見

群馬県行政改革評価・推進委員 小山 大嗣

○改革3（行政手続における利便性の向上）について

「マイナンバーカードの多目的利用や法人番号の活用について検討することが必要」とありますが、全く同意見です。

特に法人番号については、今後より広く利用されることが予想され、許認可申請における大幅な審査期間の短縮や添付書類の省略に繋がると思います。

○改革5（事務改善と適正な事務の推進（現大綱では「事務事業執行の効率化」））について

人工知能（A I : Artificial Intelligence）技術については、製造やマーケティング、医療等、様々な領域でサービスの開発と実際の現場導入が進められています。行政分野におけるA Iの適用については、体系的な調査研究は現状ほとんど行われていません。

人的・予算的制約が厳しさを増す中、ますます複雑化・多様化する行政課題に対応していくことが求められる行政機関にとって、A I技術の利活用は、業務・サービスの飛躍的な高度化・効率化をもたらす可能性があると思います。

今後3年は、「行政とA I」の可能性を調査研究、あるいは実施していく期間にあたるのではないかと思うので、項目としてどこかに組み込めないでしょうか。